

## 平成 2 4 年度診療報酬改定における DPC 制度 (DPC/PDPS) の対応について (概要)

### 1. 診療報酬改定 (出来高体系) の反映

#### (1) 入院基本料の見直し

診断群分類点数表の集計において、栄養管理実施加算及び褥瘡患者管理加算の入院基本料への包括化に伴う 11 点の増点分を反映。

#### (2) 改定率

医療機関別係数 (機能評価係数 I を除く。) の設定において、平成 24 年度改定に伴う報酬水準の変化を反映 (全体に 1.00004 (1+改定率 0.004%) を乗じる)。

#### (3) 機能評価係数 I の改定

入院患者全員に対して算定される加算、入院基本料等の補正值について、改定後の点数に基づき機能評価係数 I を改定 (新設を含む)。

### 2. 診断群分類点数表の改定

#### (1) 診療報酬改定時に実施する基本的な見直し

##### ① 診断群分類 (DPC) の見直し

最新の診療実態や技術革新を反映した DPC となるよう、新たな技術の保険導入 (出来高体系) への対応も含めて改定時に見直しを実施。

改定時期	DPC 総数	うち包括対象 DPC 数 (※)
平成 15 年 4 月	2,552	1,860
平成 16 年 4 月	3,074	1,726
平成 18 年 4 月	2,347	1,438
平成 20 年 4 月	2,451	1,572
平成 22 年 4 月	2,658	1,880
平成 24 年 4 月	2,927	2,241

※ 改定時点で包括対象となっている DPC 数

##### ② 包括対象から除外する技術等の更新

新たに保険導入された手術・処置・検査等の技術やいわゆる高額薬剤について、改定時の診断群分類見直しで対応できないものについて別途 (包括対象外の患者に該当するものとして) 指定。

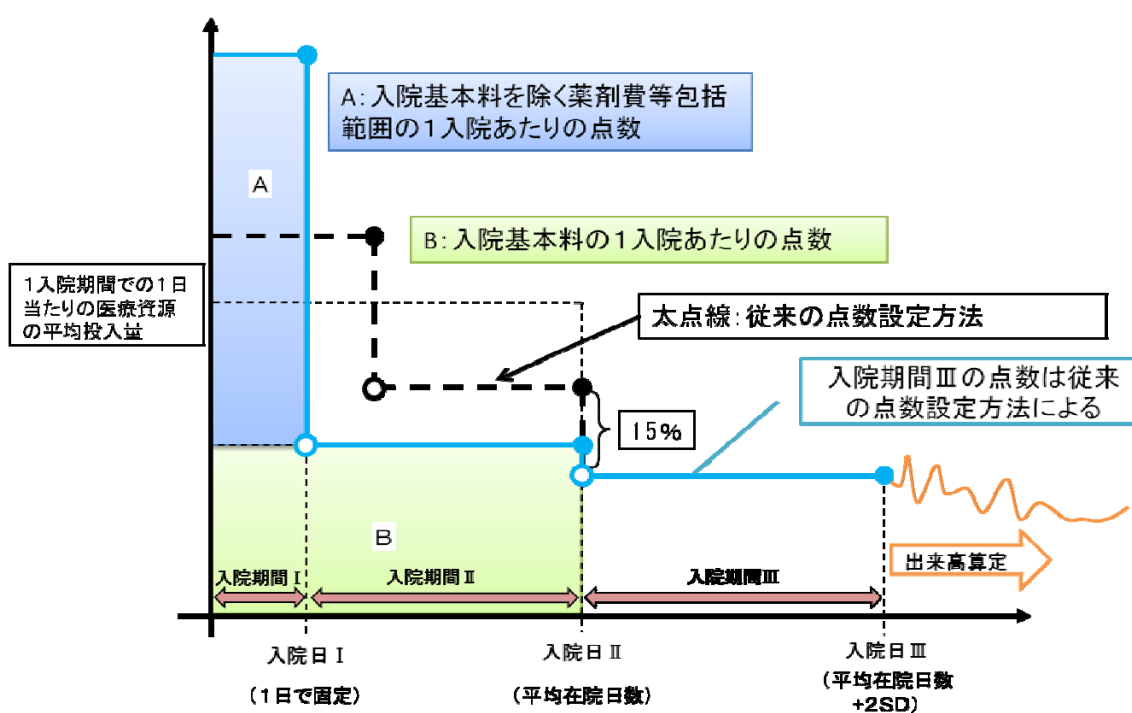
	平成 22 年 4 月	平成 24 年 4 月
1) 手術・処置等	19	25
2) 高額薬剤	4	24

注) いずれも改定時点での数

## (2) 平成 24 年改定における新たな対応事項

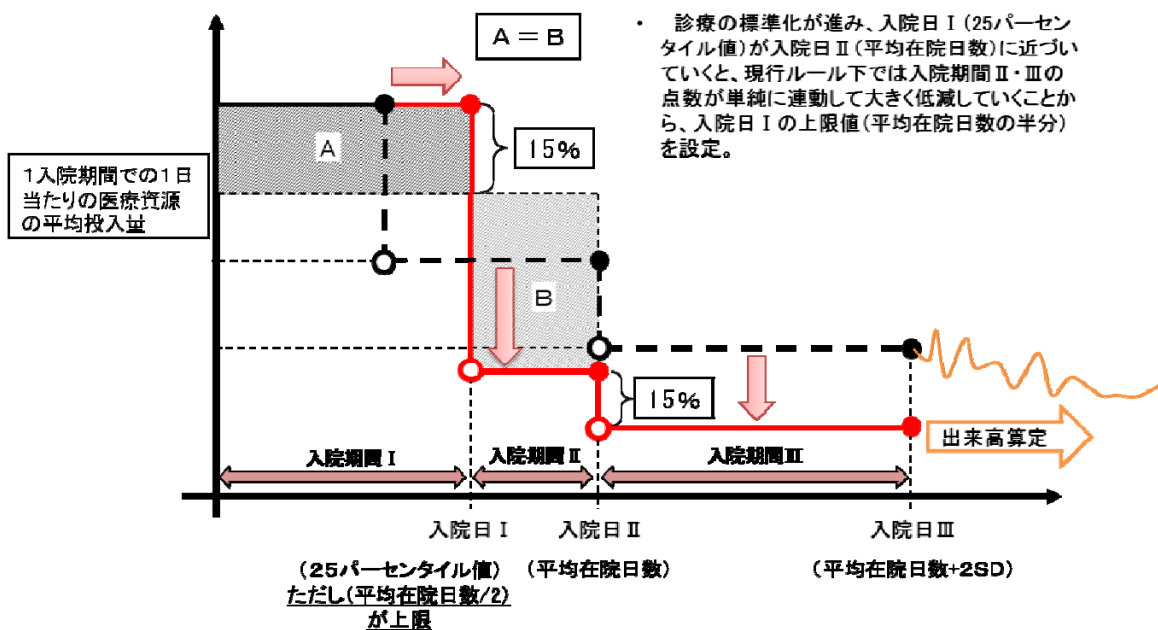
### ① 高額薬剤に対応した新たな点数設定方式の導入

特定の診断群分類について、在院日数遷延を防止する観点から、入院基本料を除く薬剤費等包括範囲の点数を入院期間 I の点数に組込む設定(下図)を 22 の DPC で試行的に導入した。



### ② 定額報酬設定方法の精緻化

DPC/PDPS 対象施設数の増加や調査の通年化によるデータ数の大幅な増加と、今後の調整係数廃止に伴うより精緻な報酬設定等に対応するため、定額報酬設定における平均値算出方法を幾何平均から相加平均に変更するとともに、入院日 I (25 パーセンタイル値) の上限値を平均在院日数の 1/2 (入院日 II の 1/2) として設定した。



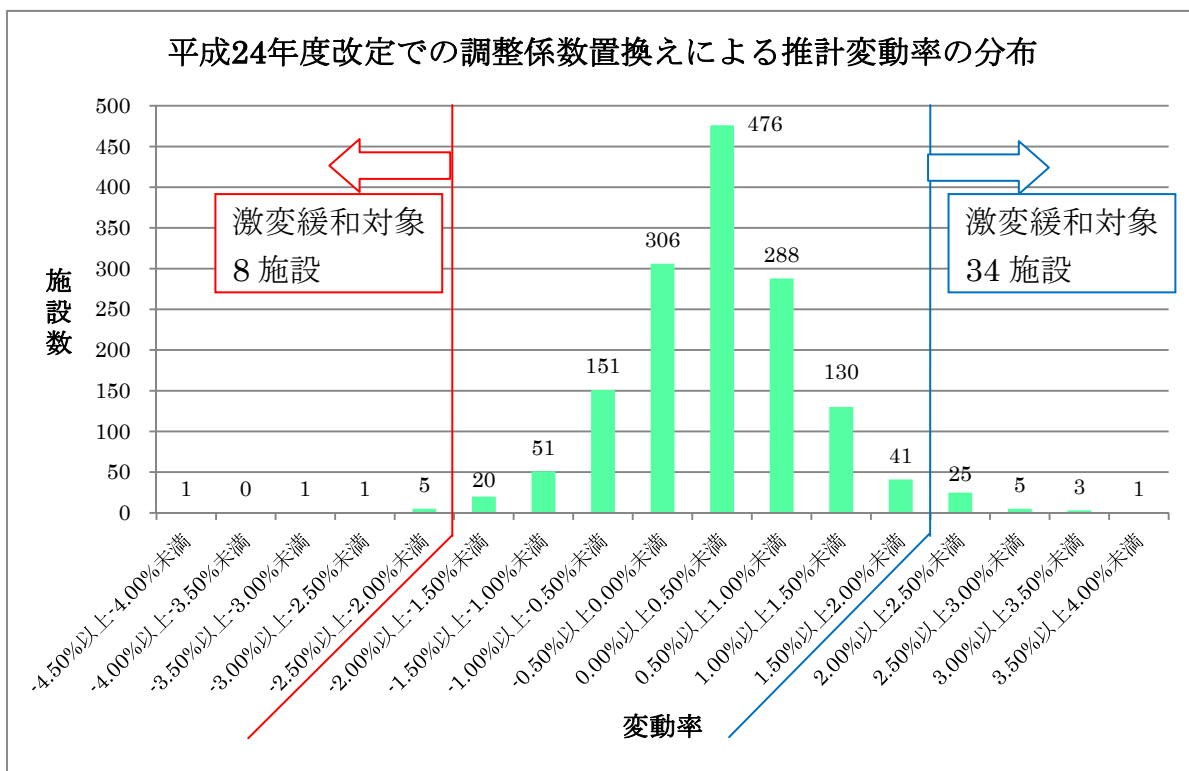
### 3. 調整係数の置換えへの対応

#### (1) 医療機関群（基礎係数）の導入

医療機関群	施設数	基礎係数
DPC 病院 I 群(大学病院本院)	80	1.1565
DPC 病院 II 群	90	1.0832
DPC 病院 III 群	1,335	1.0418
合計	1,505	1.0623(加重平均値)

#### (2) 暫定調整係数に係る経過措置（激変緩和）

DPC 制度全体の移行措置（調整係数の基礎係数・機能評価係数 II への置換え）に伴う個別の医療機関別係数の変動について、激変緩和の観点から、医療機関別係数の変動の影響による推計診療報酬変動率（出来高部分も含む）に基づき、2.0%を超えて変動しないよう暫定調整係数を 42 施設（変動率 -2.0% を下回った施設数：8 施設、変動率 +2.0% を上回った施設数：34 施設）について調整した。



【参考】DPC 病院 I 群・II 群の地域分布

	I 群	II 群		I 群	II 群		I 群	II 群
<b>全国合計</b>	<b>80</b>	<b>90</b>	<b>東海北陸</b>	<b>10</b>	<b>17</b>	<b>四国</b>	<b>4</b>	<b>4</b>
北海道	3	3	富山	1	0	徳島	1	1
北海道	3	3	石川	2	0	香川	1	1
<b>東北</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	岐阜	1	2	愛媛	1	0
青森	1	3	静岡	1	5	高知	1	2
岩手	1	1	愛知	4	8	<b>九州</b>	<b>11</b>	<b>8</b>
宮城	1	0	三重	1	2	福岡	4	5
秋田	1	0	<b>近畿</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	佐賀	1	0
山形	1	1	福井	1	0	長崎	1	0
福島	1	1	滋賀	1	0	熊本	1	1
<b>関東信越</b>	<b>27</b>	<b>37</b>	京都	2	1	大分	1	0
茨城	1	3	大阪	5	5	宮崎	1	1
栃木	2	0	兵庫	2	4	鹿児島	1	0
群馬	1	0	奈良	1	2	沖縄	1	1
埼玉	2	5	和歌山	1	0			
千葉	1	6	<b>中国四国</b>	<b>6</b>	<b>3</b>			
東京	13	10	鳥取	1	0			
神奈川	4	7	島根	1	0			
新潟	1	4	岡山	2	2			
山梨	1	0	広島	1	1			
長野	1	2	山口	1	0			

#### 4. 機能評価係数Ⅰの見直し

平成24年度改定での出来高診療報酬改定の反映（1.（3））以外について以下の対応を実施。

- (1) 項目の再整理（改定新設項目への対応を含む）  
地域加算、離島加算、患者サポート体制充実加算、病棟薬剤業務実施加算及びデータ提出加算を機能評価係数Ⅰとして評価。
- (2) データ提出加算に係る整理  
データ提出加算の評価に関して、DPC/PDPSの包括対象患者については、改定前の機能評価係数Ⅱ（データ提出係数）のデータ提出手順の遵守の評価部分（係数1/2相当）を移行する形で全体を整理。

#### 5. 機能評価係数Ⅱの見直し

平成24年度改定における機能評価係数Ⅱの概況は以下の通り。また、機能評価係数Ⅱの各係数分布状況については別紙参照。

##### <機能評価係数Ⅱの分布範囲等>

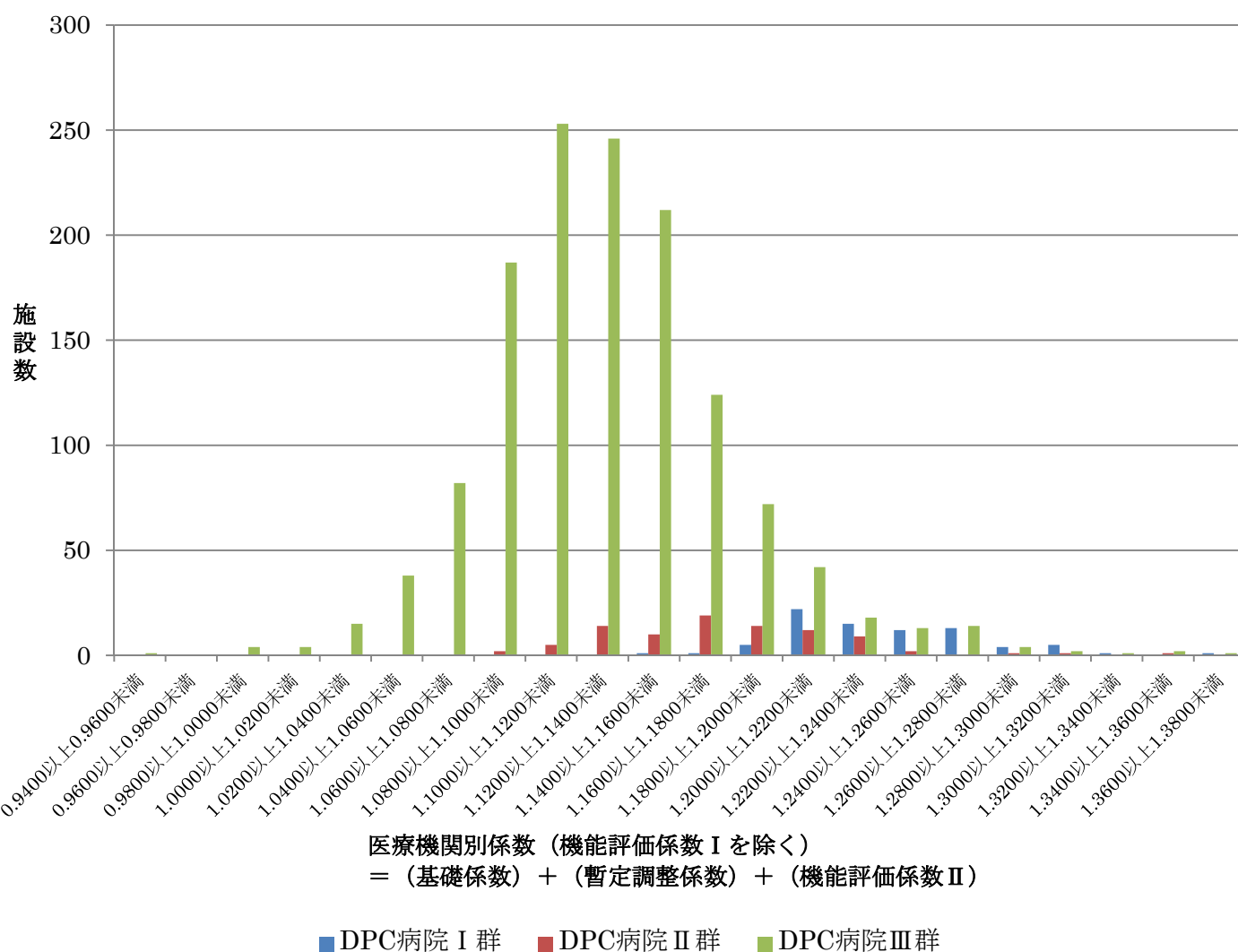
係数		最小値	～	最大値	中央値	加重平均値
データ提出		0.0018	～	0.0020	0.0020	0.0020
効率性		0.0000	～	0.0092	0.0039	0.0041
救急医療		0.0000	～	0.0155	0.0038	0.0041
複雑性	I群	0.0000	～	0.0072	0.0040	0.0041
	II群	0.0000	～	0.0098	0.0037	0.0041
	III群	0.0000	～	0.0099	0.0039	0.0041
	合計	0.0000	～	0.0099	0.0039	0.0041
カバー率	I群	0.0023	～	0.0060	0.0038	0.0041
	II群	0.0017	～	0.0078	0.0039	0.0041
	III群	0.0030	～	0.0059	0.0036	0.0041
	合計	0.0017	～	0.0078	0.0037	0.0041
地域医療	I群	0.0015	～	0.0082	0.0037	0.0041
	II群	0.0004	～	0.0165	0.0032	0.0041
	III群	0.0000	～	0.0120	0.0026	0.0041
	合計	0.0000	～	0.0165	0.0027	0.0041

合計値	I 群	0.0124	～	0.0289	0.0204	0.0225
	II 群	0.0154	～	0.0369	0.0237	0.0225
	III 群	0.0066	～	0.0382	0.0209	0.0225
	合計	0.0066	～	0.0382	0.0210	0.0225

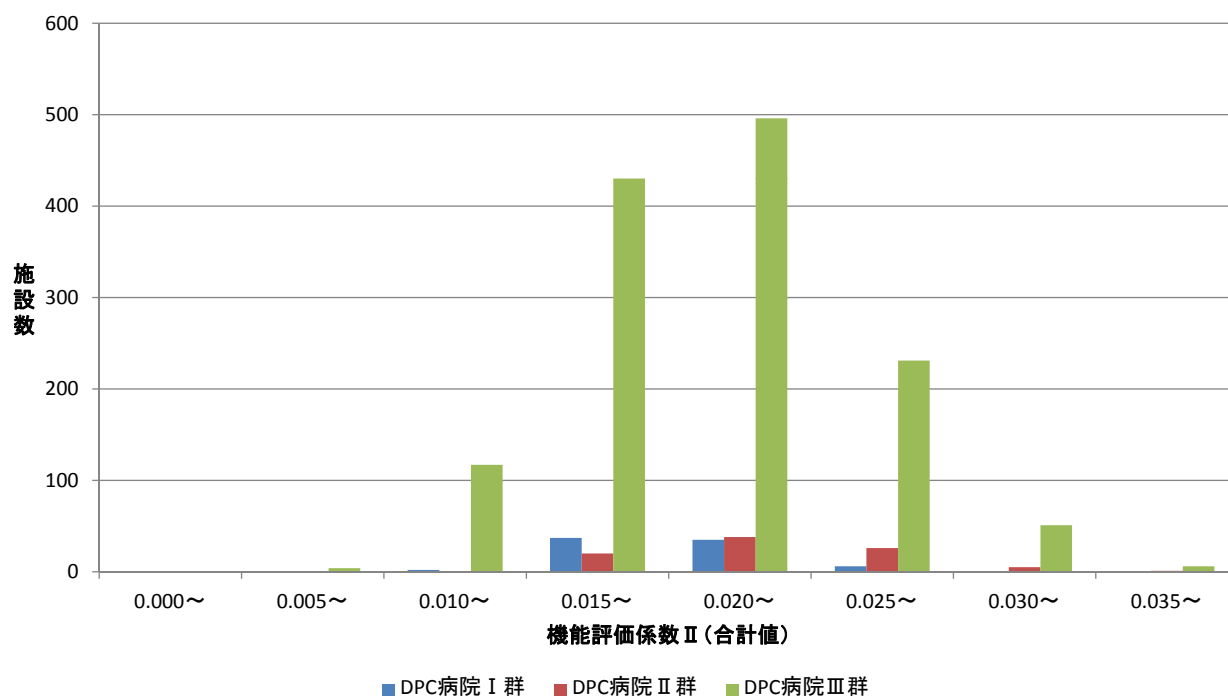
注) 上記の値はいずれも小数第5位を四捨五入して表示。

※ 6係数間での相対配分については、各項目が独立した概念で設定されていることから、各係数項目の評価に割り当てる総報酬額（財源）は等分とした。  
 但し、データ提出係数の整理（上記4. (2)参照）に伴い、データ提出係数はデータの質的評価に係る部分のみとなり、最終的には他の係数の1/2相当とした。

【参考】医療機関別係数の分布（医療機関群別）



## 機能評価係数Ⅱの合計



※ 0.005刻みで「0.040～」は「0.040以上0.045未満の区分」を表す

1

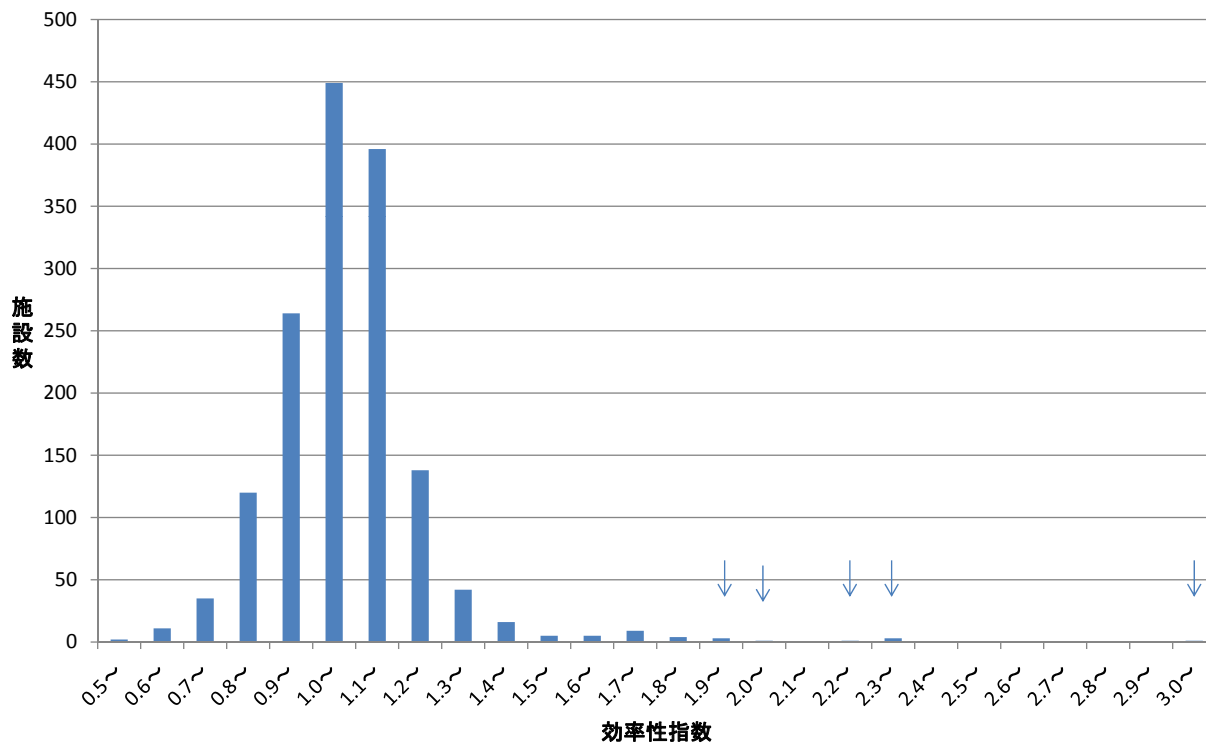
## データ提出係数の分布

データ提出係数	施設数
0.0020	1465
0.0018	40
合計	1505

- 「部位不明・詳細不明コード」(平成24年度改定に向けた精査後)の使用割合が20%以上となった40施設については、当該評価を改定前の係数の5%相当減算。
- (データ提出係数はデータ提出加算(機能評価係数Ⅰ)との整理に伴い改定前の係数の50%相当となっている)

2

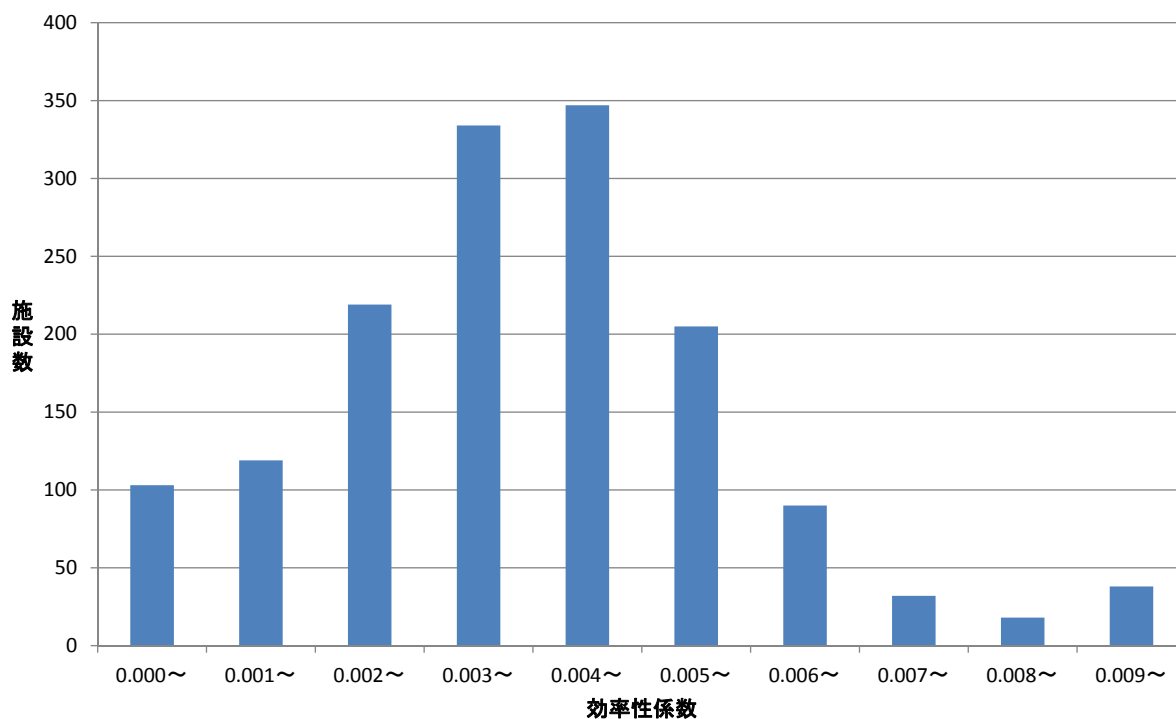
## 効率性指数の分布(全病院)



※ 0.1刻みで「1.2~」は「1.2以上1.3未満の区分」を表す

3

## 効率性係数の分布(全病院)

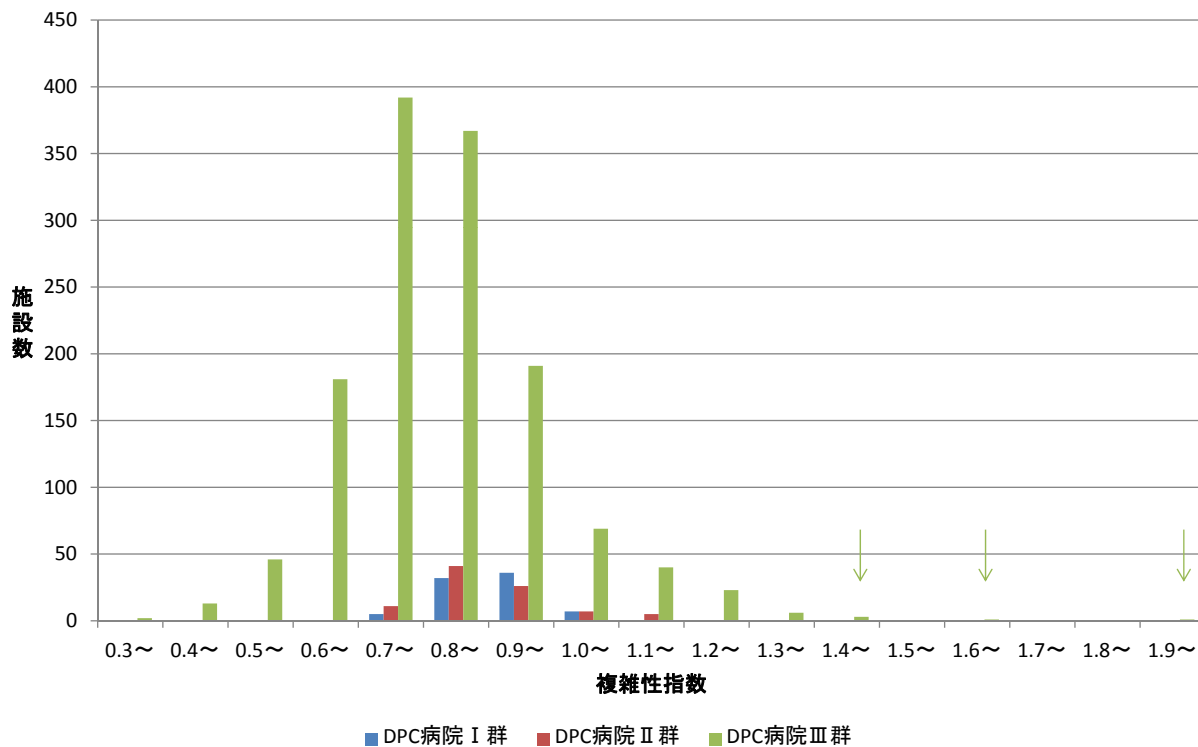


※ 0.001刻みで「0.008~」は「0.008以上0.009未満の区分」を表す

4

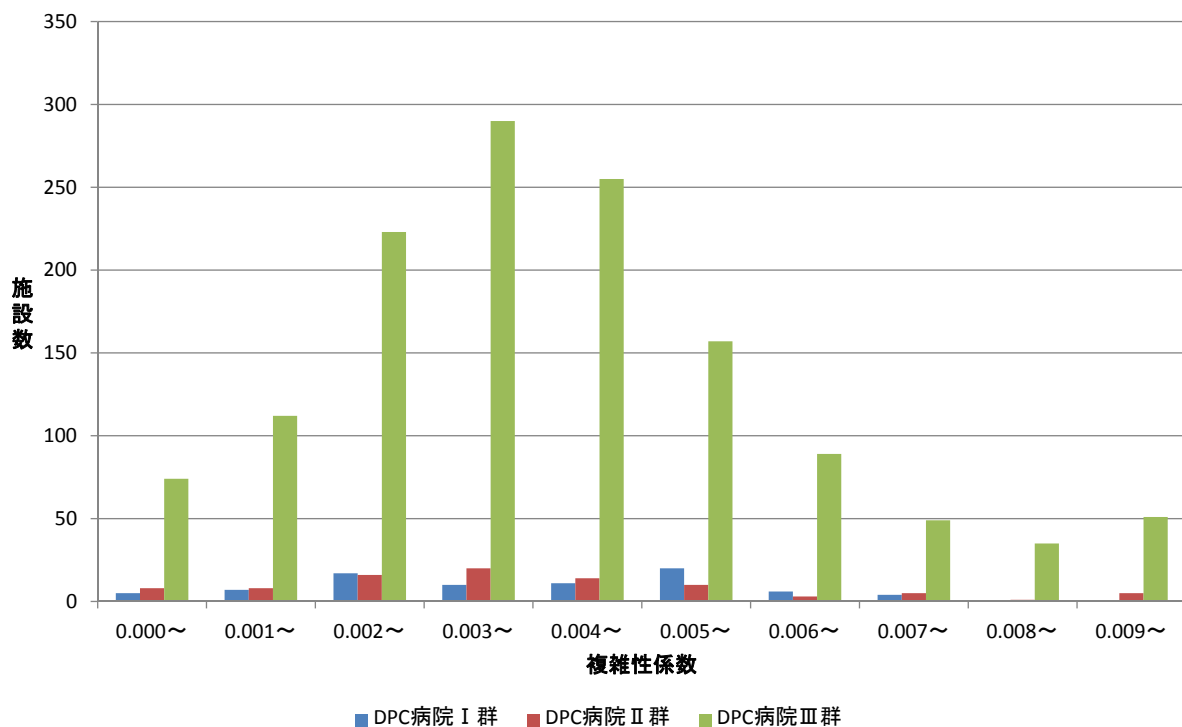


# 複雑性指数の分布(医療機関群別)



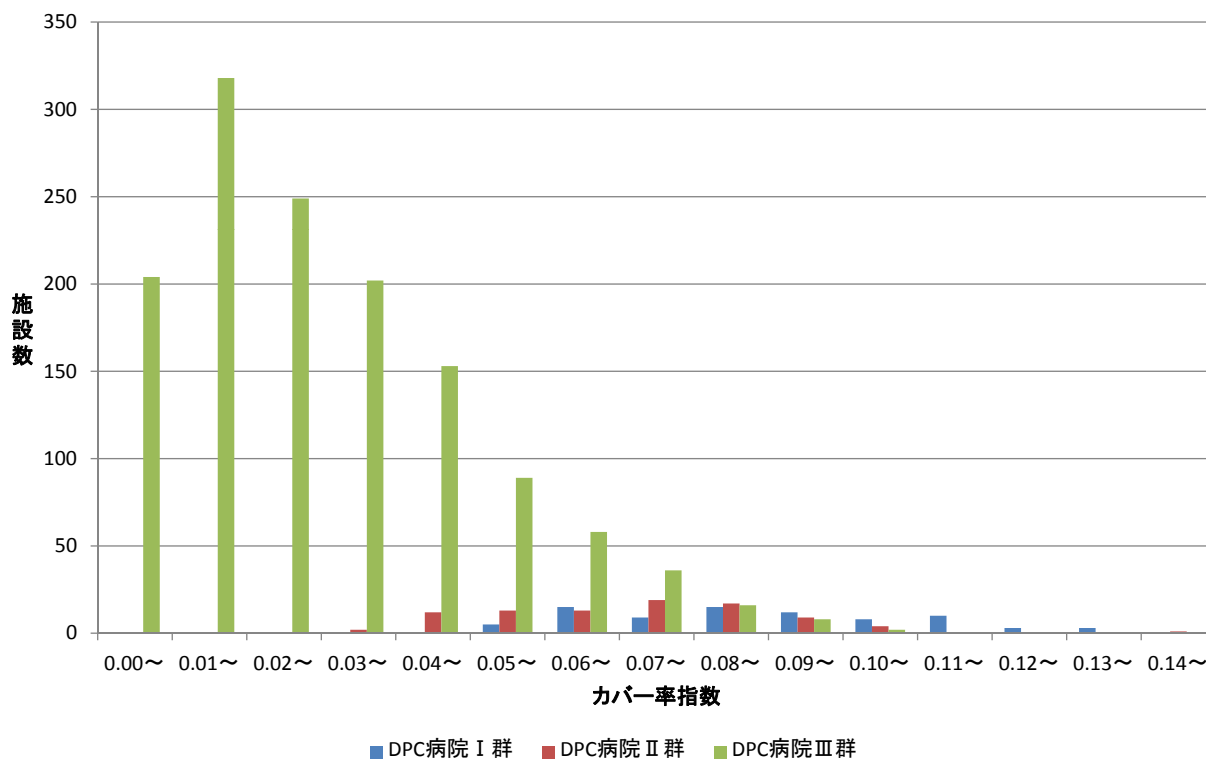
※ 0.1刻みで「1.2~」は「1.2以上1.3未満の区分」を表す

# 複雑性係数の分布(医療機関群別)



※ 0.001刻みで「0.008~」は「0.008以上0.009未満の区分」を表す

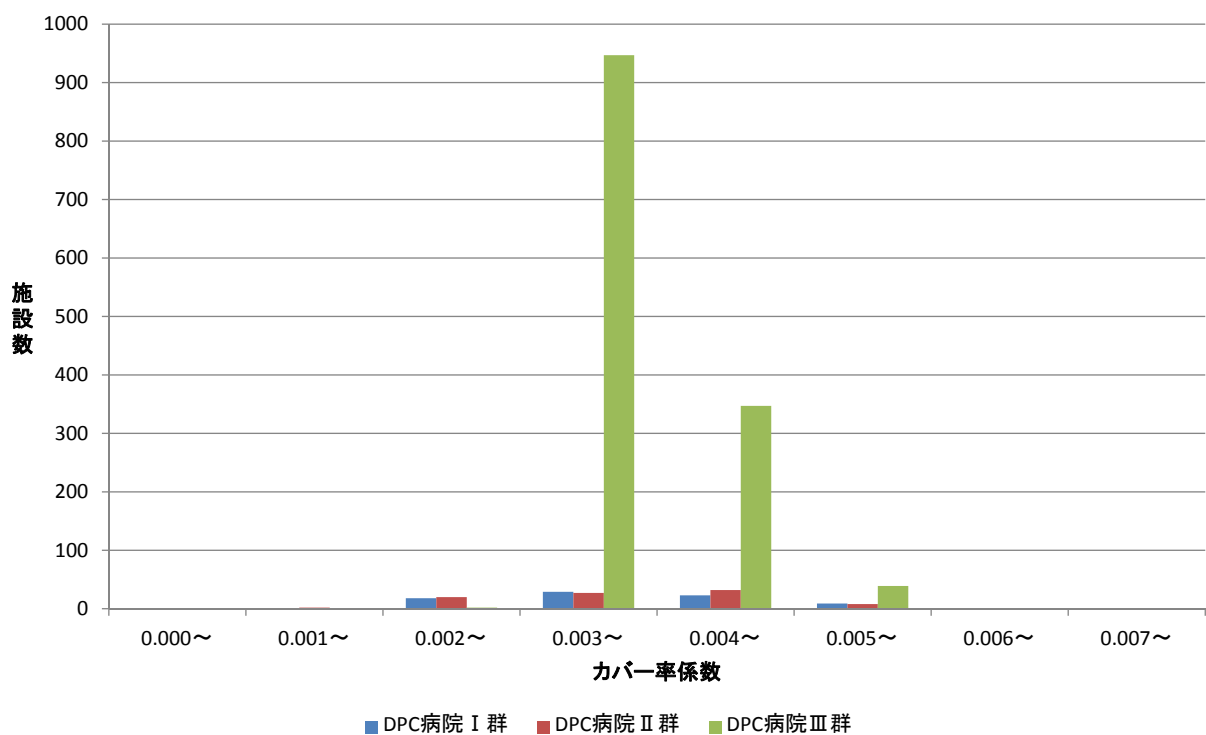
# カバー率指数の分布（医療機関群別）



※ 0.01刻みで「0.12~」は「0.12以上0.13未満の区分」を表す

7

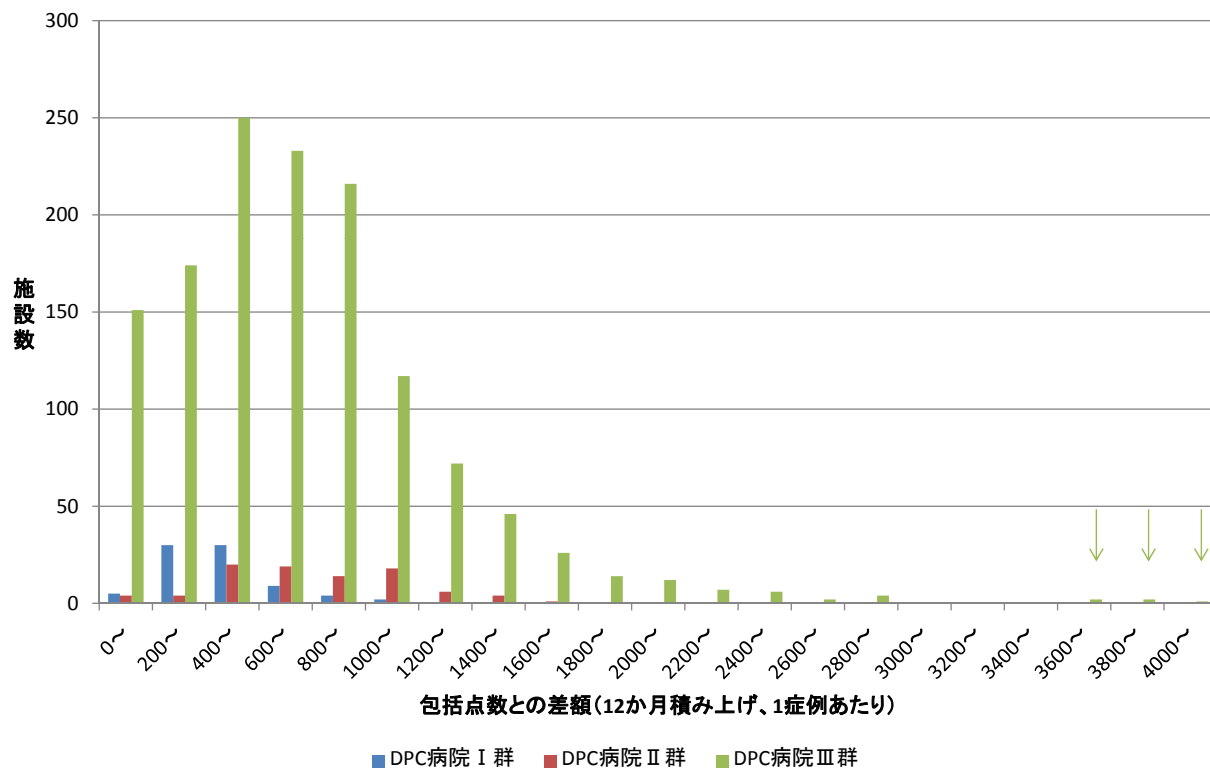
# カバー率係数の分布（医療機関群別）



※ 0.001刻みで「0.008~」は「0.008以上0.009未満の区分」を表す

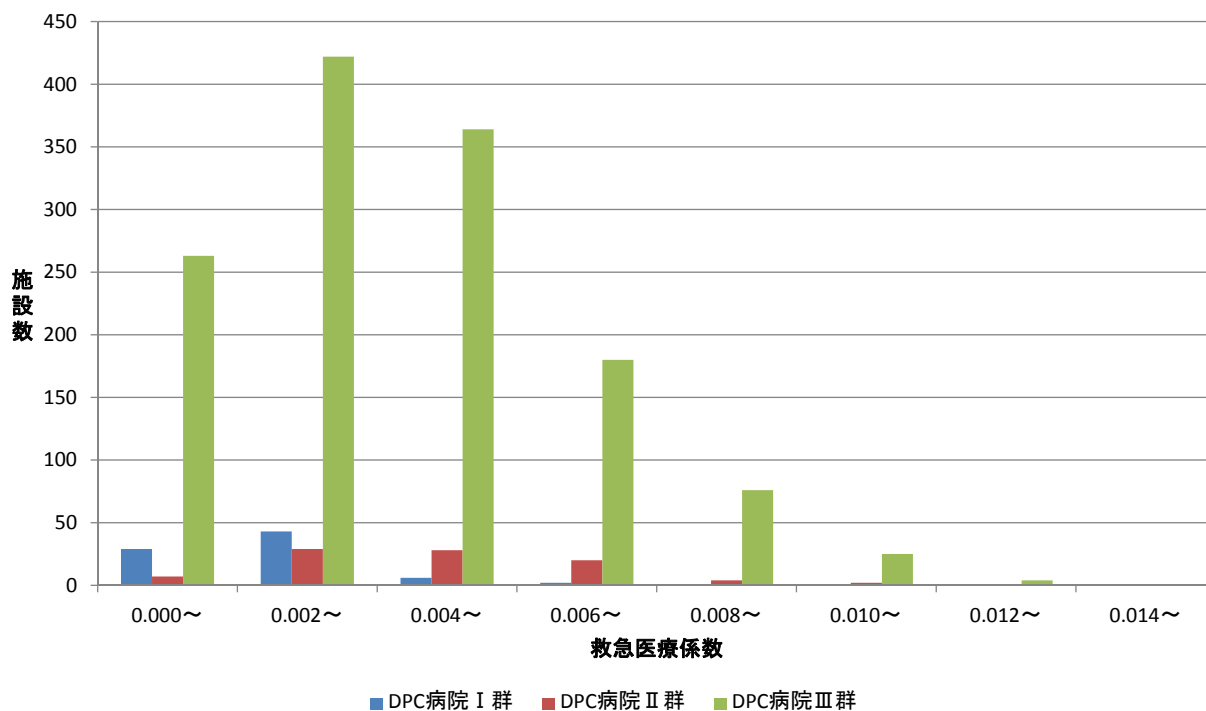
8

## 救急医療指数の分布(医療機関群別)



※ 100点/症例刻みで「800～」は「800点/症例以上900点/症例未満の区分」を表す 9

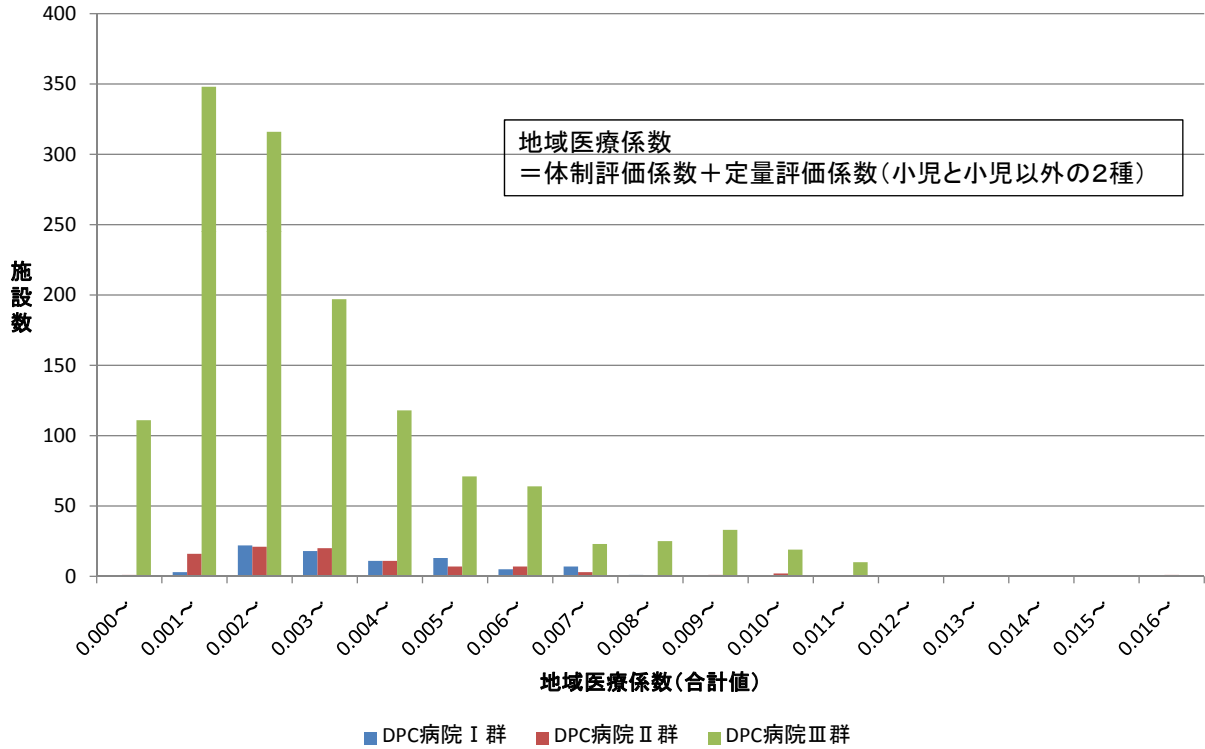
## 救急医療係数の分布(医療機関群別)



※ 0.002刻みで「0.008～」は「0.008以上0.010未満の区分」を表す

10

# 地域医療係数(合計値)

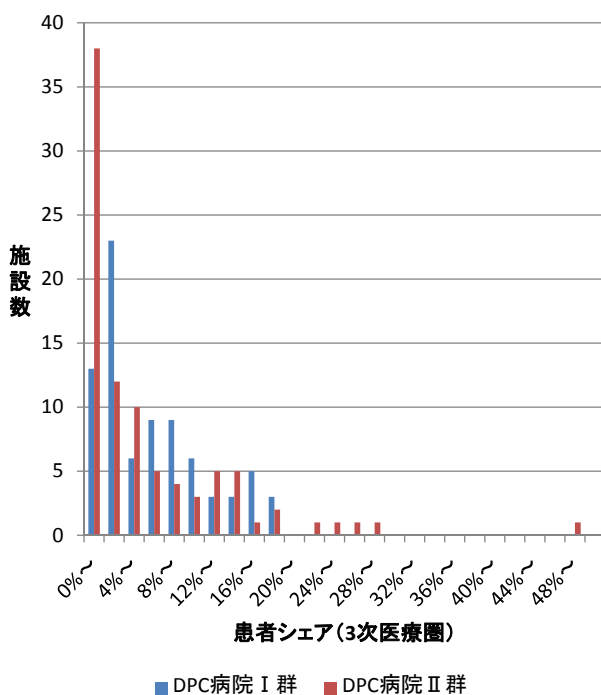


※ 0.001刻みで「0.008～」は「0.008以上0.009未満の区分」を表す

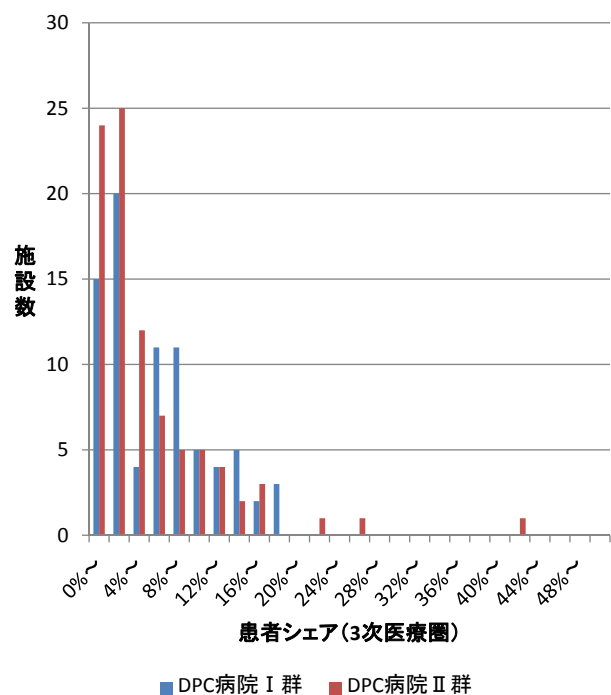
11

## 地域医療指数・定量評価指数の分布(DPC病院 I 群・II 群)

### 小児(15歳未満)



### 15歳以上

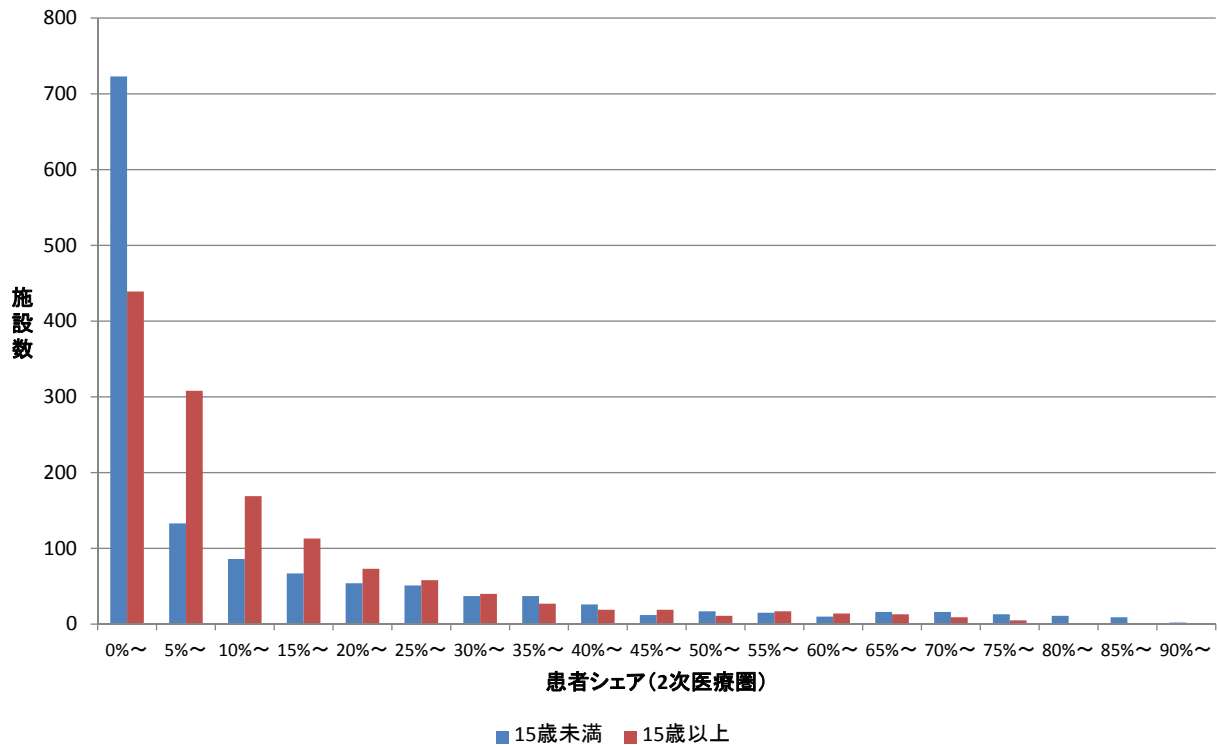


急性期 I 群・II 群は、  
**3次医療圏における患者シェア**で評価

※ 2%刻みで「30%～」は「30%以上32%未満の区分」を表す

12

## 地域医療指数・定量評価指数の分布(DPC病院Ⅲ群)



急性期Ⅲ群は、  
2次医療圏における患者シェアで評価

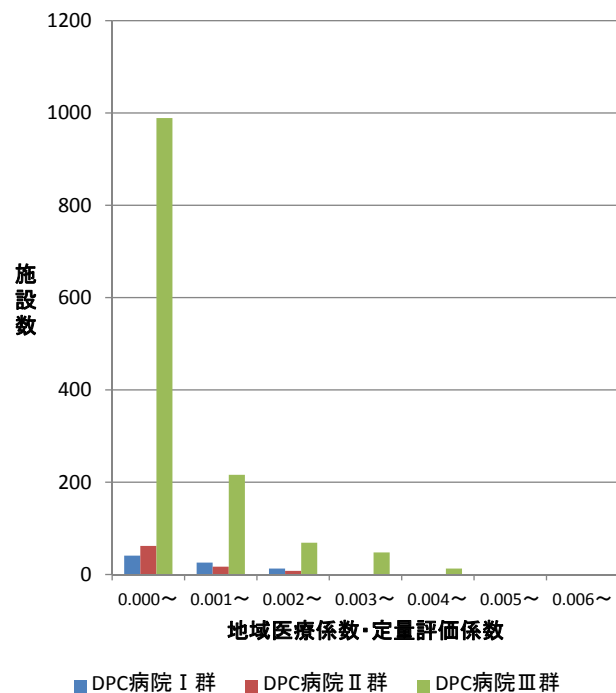
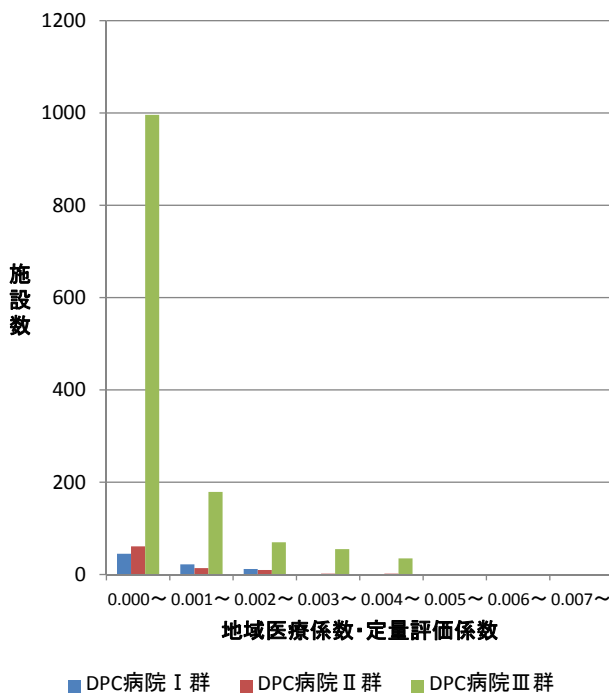
※ 5%刻みで「30%～」は「30%以上35%未満の区分」を表す

13

## 地域医療係数・定量評価係数

小児(15歳未満)

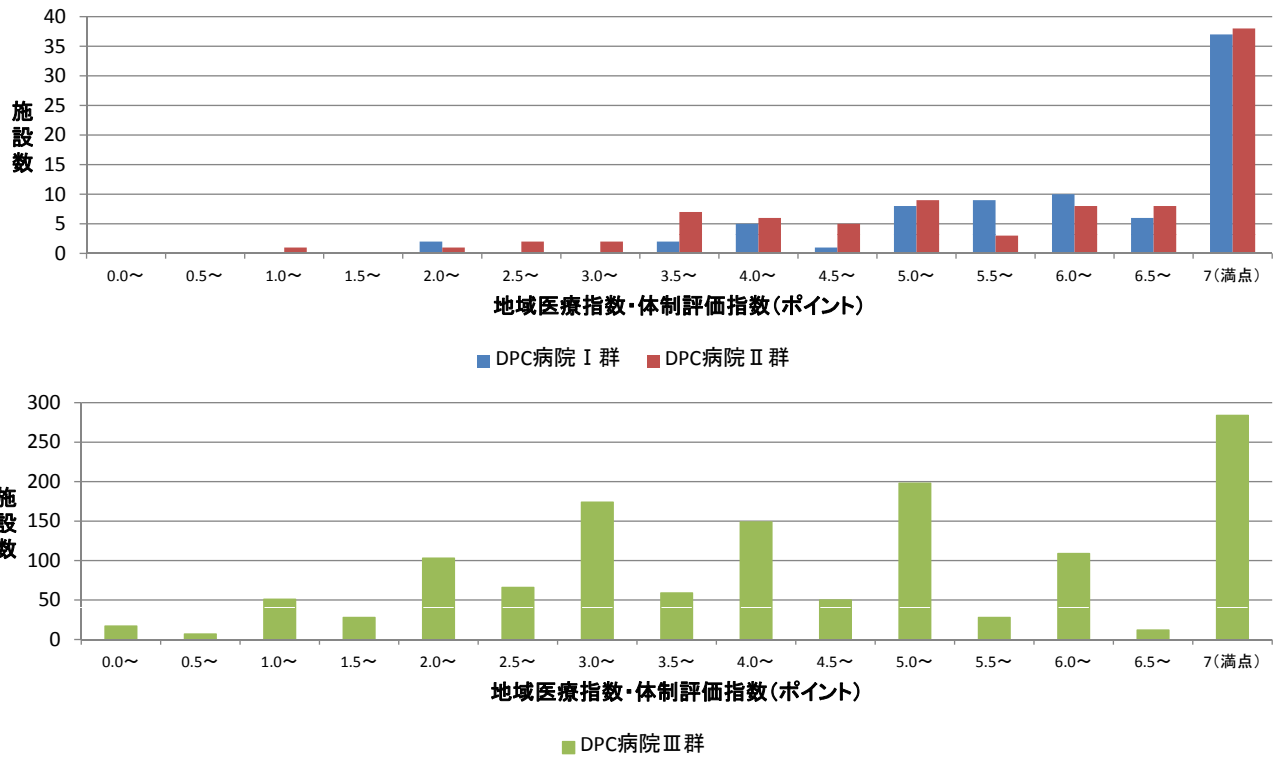
15歳以上



※ 0.001刻みで「0.008～」は「0.008以上0.009未満の区分」を表す

14

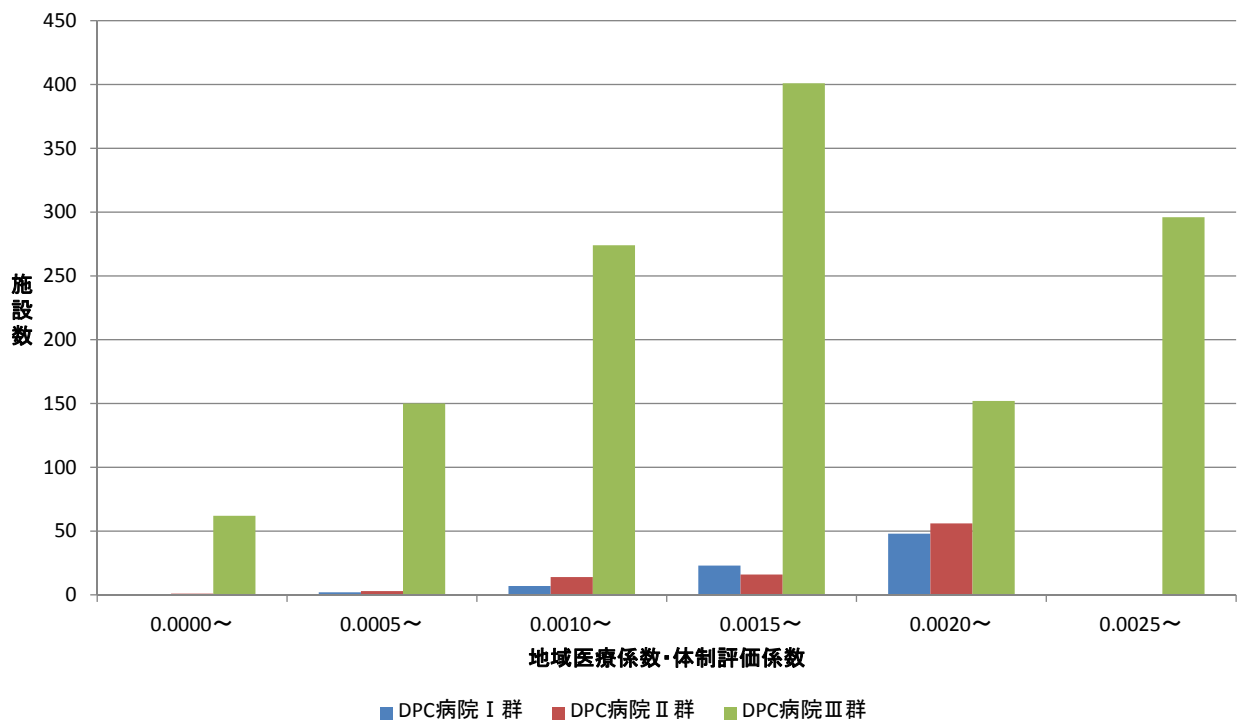
# 地域医療指数・体制評価指数



※ 0.5刻みで「3.0~」は「3.0以上3.5未満の区分」を表す

15

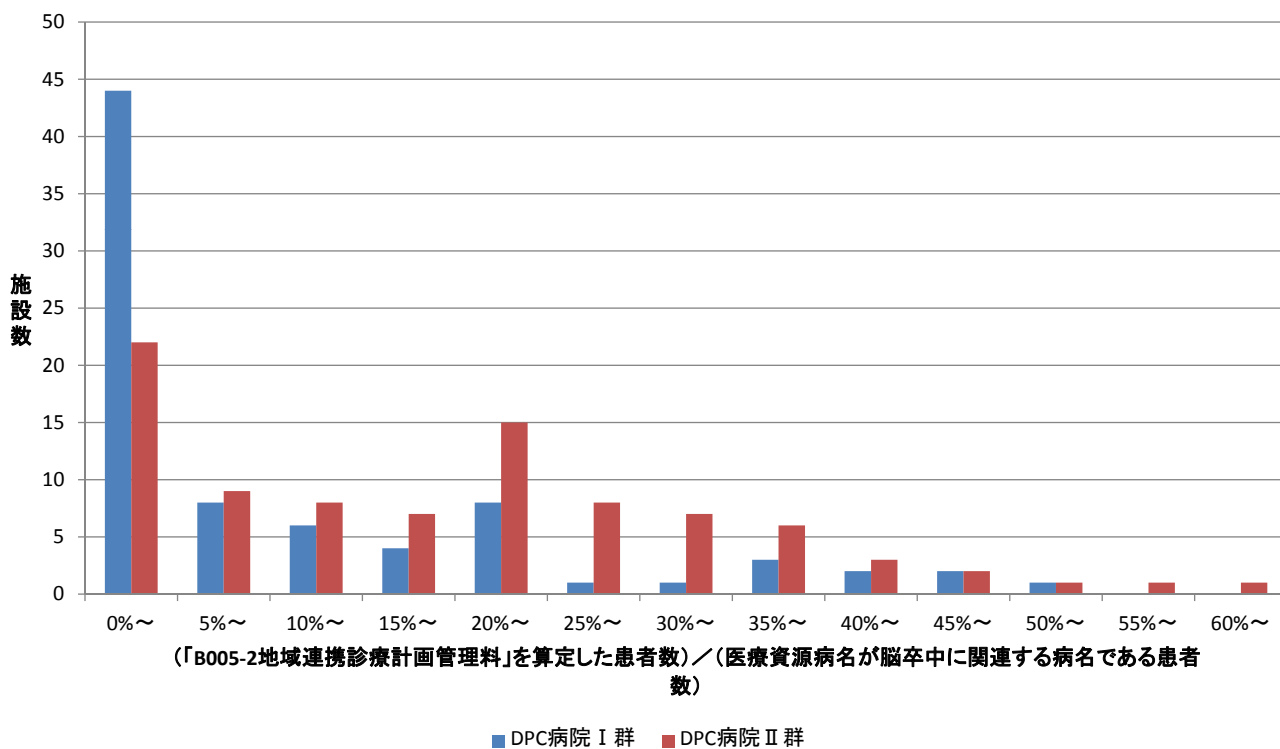
# 地域医療係数・体制評価係数



※ 0.0005刻みで「0.0030~」は「0.0030以上0.0035未満の区分」を表す

16

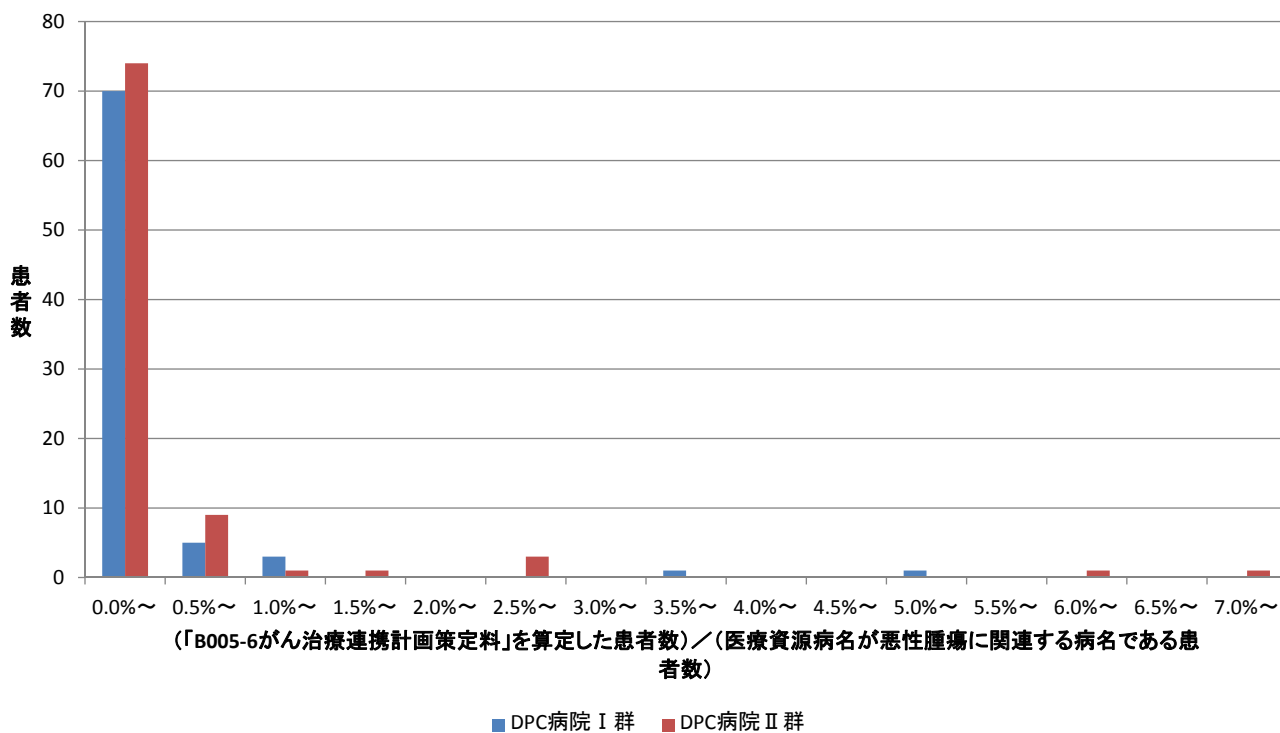
# 脳卒中地域連携(DPC病院 I 群・II 群)



※ 5%刻みで「30%~」は「30%以上35%未満の区分」を表す

17

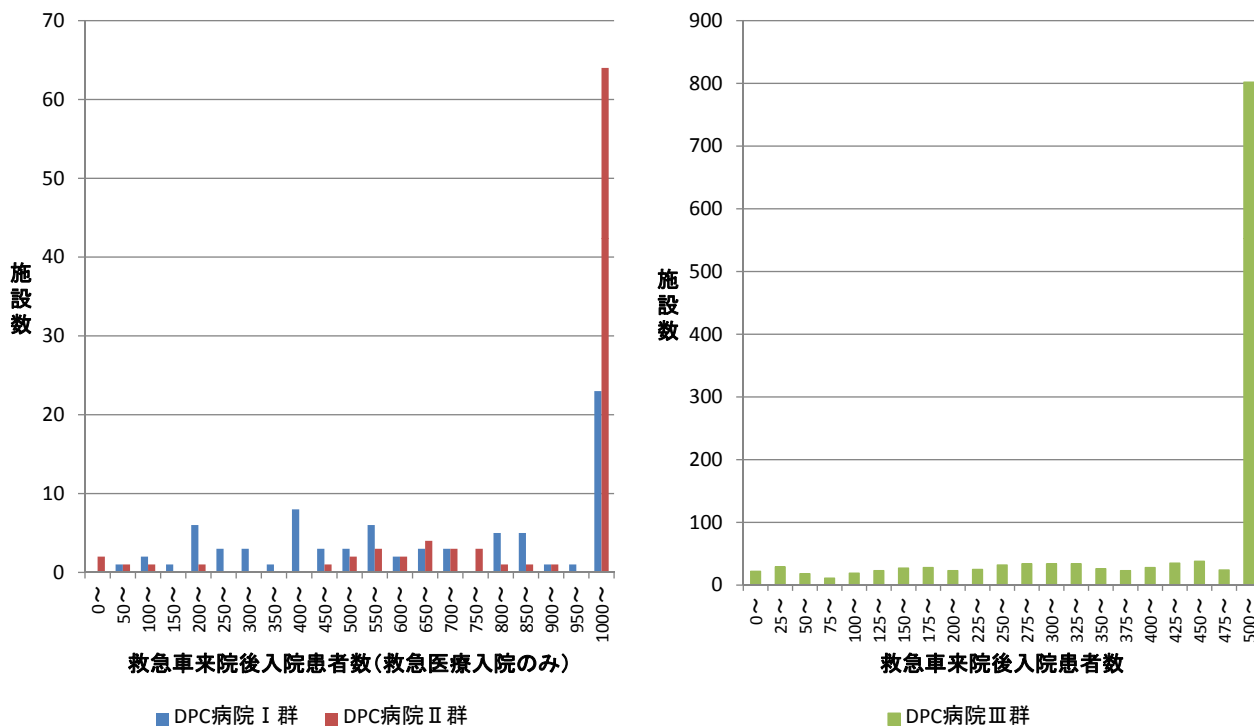
# がん地域連携(DPC病院 I 群・II 群)



※ 0.5%刻みで「3.0%~」は「3.0%以上3.5%未満の区分」を表す

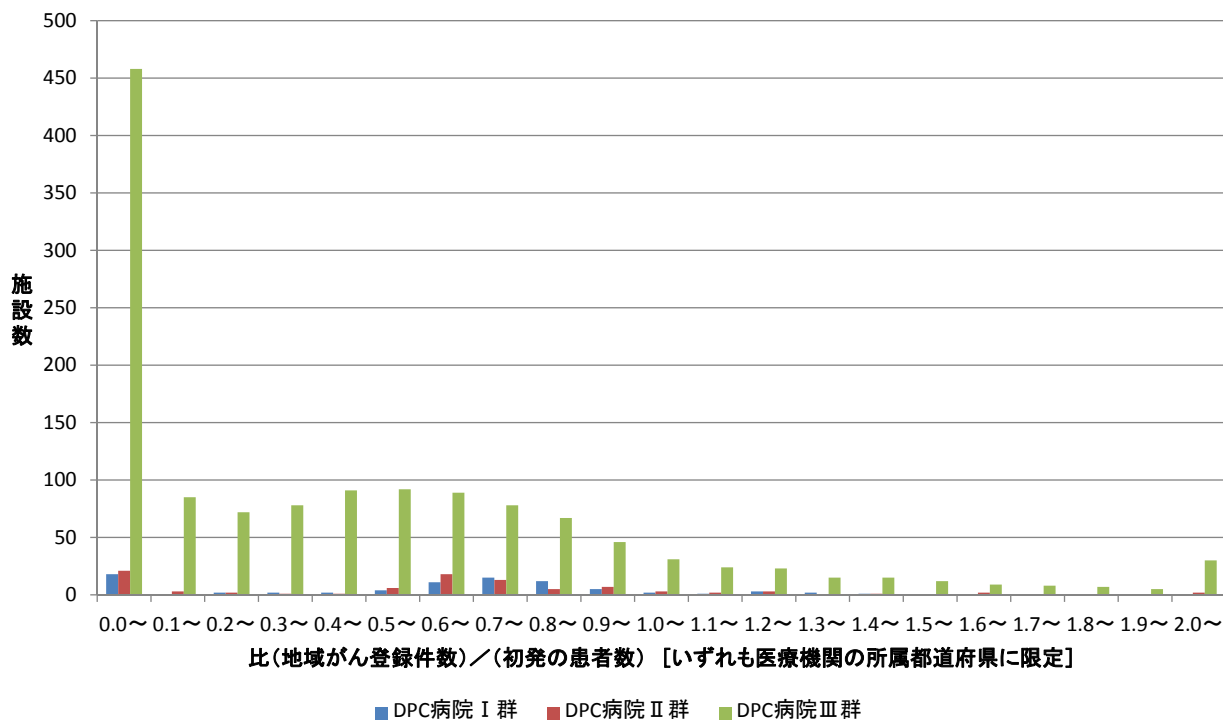
18

## 地域医療体制評価・救急医療(救急車来院後入院患者数)



※ 25台/年刻みで「325～」は「325台/年以上350台/年未満の区分」を表す 19

## 地域がん登録(医療機関群別)



※ 0.1刻みで「0.9～」は「0.9以上1.0未満の区分」を表す